

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2018/4/6
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 株式会社富士通ラーニングメディア
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1977年6月30日
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 40年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 〒108-0075 東京都港区港南二丁目13番34号
	事業所数(国内、国外)		必須 国内5箇所(本社会)	
	主な事業所の所在地		必須 〒108-0075 東京都港区港南二丁目13番34号	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 <ul style="list-style-type: none"> ■人材育成・研修サービス -人材育成コンサルティング -学習管理サービス「KnowledgeC@fe」 -講習会/サテライト講習会/e講義動画/eラーニング -eラーニングコンテンツ受託開発/ドキュメント制作・活用/Webサイト制作・運用サービス ■個人のお客様向けパソコン教室(富士通オープンカレッジ)
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 代表取締役社長 青山 昌裕
			代表者写真	選択 記述有り(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述有り(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 9,209,051,000円(平成29年3月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 3億円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	記述無し(*)
17		決算公告	選択	記述無し(*)
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	選択	記述無し(*)
20		主要取引金融機関	選択	記述有り(*)
21		所属団体	選択	記述無し(*)
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	記述無し(*)
23		専担の部署・会議体	選択	記述無し(*)
24	書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	情報管理規程、情報システムセキュリティ規程、個人情報保護ポリシー、個人情報管理規程、個人情報管理規程運用細則、他社秘密情報管理規程
		上記の書類の経営陣による承認の有無		有
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	記述無し(*)
		上記の書類の経営陣による承認の有無		記述無し(*)
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	有 品質問題発生時のエスカレーション(第1報)ルール 緊急時の連絡体制 障害発生時の緊急連絡フロー
		上記の書類の経営陣による承認の有無		有
- サービス基本特性				
27		サービス名称	必須	KnowledgeC@fe
28		サービス開始年月日(西暦)	必須	1998/10/1
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		・1998年9月30日 「KnowledgePool/ONLINE」販売開始 ・2005年10月27日 リニューアル「ASP-NEXT」販売開始 ・2008年7月1日 リニューアル「KnowledgeC@fe」販売開始 ・2011年7月22日 「KnowledgeC@fe in SaaS V3.0」販売開始 ・2016年9月20日 システムのプラットフォームを、富士通クラウドK5へ移行
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容 サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	「KnowledgeC@fe in SaaS」は、研修(集合、eラーニング)の申込/実績の管理業務を行えるSaaS形式の研修管理サービスです。受講者の募集(申し込み)から、eラーニングコースの受け付けまでをトータルにパッケージ化しているため、社内研修の管理をされている人事担当者様にお勧めです。研修の申込状況や、受講履歴(可否、点数)など、学習状況履歴を管理でき、管理情報(申込情報、履歴情報など)はCSVでダウンロードできますので、様々なデータ加工にも便利です。管理できる研修形態は、集合研修・eラーニングだけでなく、外部セミナーや教材・メディアの管理も行えます。SaaS形式での導入によって、初期費用を大幅に抑え、スピーディに初期構築が完了します。わずらわしいセキュリティ管理を行なう必要もなく、月額費用のみで研修管理を行えます。豊富なeラーニング運用の経験を持つ当社スタッフのサポートもあり、別途オプションとして運用作業の代行も行なっているため、研修管理が始めてのお客様にも安心です。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		サイダス社タレントマネジメントシステムCYDAS.comと連携 KnowledgeC@fe in Streamは、KnowledgeC@feの学習者向け機能、グループ管理者(上長)向け機能をCYDAS.comの利用者向けインタフェースStreamを用いて提供するものです。ユーザーの使いやすさにこだわった新感覚の操作性で、学習が行えます。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	ログイン画面、問合せ画面、利用規定画面の文言追加が可能。契約内容によって、専用問合せシステムの設定も可能。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	サービス変更時: 1ヶ月前 サービス終了時: 12ヶ月前
		告知方法		書面
33	サービスの変更・終了 サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	有り グループ会社サービスへの移行支援
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		有り 代替サービスの紹介
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		無し 一部情報はお客様自身でCSVファイルにダウンロードが可能
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有:サポート窓口まで、メール、もしくは電話で問い合わせ。受付時間:平日9:00~17:00(土日祝日、年末年始および乙の休日を除く)営業時間外の問い合わせについては、翌営業日の対応。
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無し
		固定部分の課金方法		初期費用(基本環境構築、運用設計)、月額費用(ユーザID課金)
36	料金体系	初期費用額	必須	基本環境構築:160,000円 運用設計:個別見積
		月額利用額		36,000~
		最低利用契約期間		月額払いの最低契約月数:1ヶ月 ※受講期間だけでなく、準備期間や結果確認期間なども含めると、最低3ヶ月程度はご契約いただくことを想定しています。
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	無し:ただし、契約期間中にユーザ側の事情で解約する場合は、残存する契約期間の料金を支払うこと
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	解約の1ヶ月以上の予告期間を置いて書面をもって解約の通知をする

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	実績値 99.9%(2017年4月～2018年3月)※計画停止を除く
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン番号: 3 稼働率の対策参照値: 95%以上
		サービス停止の事故歴		1件(2017年4月～2018年3月)※計画停止を除く ・サーバインフラ障害 1件
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述無し(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	個人情報、本サービスの実施または利用のために必要な業務の範囲で利用するものとし、その他の目的には一切使用しないものとするを、契約書にて明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	毎日
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	3世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述無し(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	操作マニュアル 管理者向け、サービス仕様書、KnowledgeC@fe機能説明書として添付される。
49	サービス利用量	利用者数	選択	記述有り(*)
50		代理店数	選択	記述無し(*)
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	KnowledgeC@fe
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	研修(eラーニング、集合)の申込/実績の管理業務を行えるSaaS形式の研修管理サービス
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	富士通ラーニングメディア

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述有り(*)
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	監視対象: アプリケーション、サーバ、レスポンス 監視インターバル: 5分
		障害時の利用者への通知時間		障害認識後30分以内 ※弊社の受付時間外の場合は、上記通知は、弊社の翌営業日の対応となります。
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56	セキュリティ	時刻同期	必須	NTPコマンドをスケジュール起動
57		ウイルスチェック	必須○	教材データのウイルスチェック: 有り パターンファイル更新間隔: 24時間以内
58		記録(ログ等)	必須○	システムログ、利用ログの取得: 有り 保存期間: 1年
59		セキュリティパッチ管理	必須○	1ヶ月以内(月次の定期保守時の適用を基本とし、緊急性の高いものは随時実施)
- ネットワーク				
60	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	ユーザ接続回線については、責任を負わない
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	モバイル端末の場合、WiFi やLTE など高速で安定したインターネット接続をご利用ください。
62	回線	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Microsoft Windows 7、8.1、10 モバイル端末: Android 5.0、iOS 11 (iPhone、iPad)
		利用するブラウザの種類	必須	Microsoft Windows 7 Windows Internet Explorer 11、Google Chrome、Firefox Microsoft Windows 8.1 Windows Internet Explorer 11 デスクトップ版、Windows Internet Explorer 11 Windowsストアアプリ版(*1)、Google Chrome、Firefox Microsoft Windows 10 Windows Internet Explorer 11、Microsoft Edge Google Chrome、Firefox Android 5.0 Google Chrome iOS 11 (iPhone、iPad) Mobile Safari
63	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	ファイアウォール有り
64	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	不正侵入検知有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
65	セキュリティ	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択 記述有り(*)
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ アプリケーションによるユーザ認証(ID:パスワード)
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 有り サーバ証明書の取得
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択 記述無し(*)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 東日本
73		耐震・免震構造	耐震数値 免震構造や制震構造の有無	必須 耐震数値:ティア3相当以上 ・免震構造(建屋、付帯設備) ・支持基盤は積層砂礫質土層の強固な地層
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 有り(UPS冗長化) ティア3相当以上
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 ・変電所分離、二系統受電 ・物理サーバは二系統の電源設備から受電することで、電源の二重化を行っています。 ・UPS(無停電電源装置)による予備電源も具備しています。
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 有り ・自家発電設備設置 ・ティア3相当以上
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 有り ・N2(窒素)消火設備設置 ・消防署至近(最短7分、年2回共同訓練実施)
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 ・N2(窒素)消火設備設置 ・超高感度煙センサー設置 ・消防署至近(最短7分、年2回共同訓練実施)
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 有り
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 有り:保護レベルI、JIS A4201
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 記述有り(*)
			入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	・監視映像、入退室ログを長期間保管 ・映像ログは認証履歴と連動した検索を実施

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0068-0905, サービス名称: KnowledgeC@fe, 事業者名称: 株式会社富士通ラーニングメディア

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	<ul style="list-style-type: none"> 高機能カメラにより、昼夜問わず高精度な監視を実施 モーション検知により異常状態を検知 監視映像、入退室ログを長期間保管 映像ログは認証履歴と連動した検索を実施
		個人認証システムの有無		手のひら静脈認証装置による生体認証を実施
	83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須
保管管理手順書の有無			手のひら静脈認証でラック施錠/解錠管理 センター提供ラックはラックハンドルを電気錠化	
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述無し(*)
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	事前登録者がe-mail、または電話による問い合わせ可
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	平日9:00~17:00(土日祝日、年末年始および弊社の休日を除く) (営業時間 9:00~17:00)
		メンテナンス実施時間		前項の営業時間外に実施
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	記述無し(*)
		放棄率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	サービス全般
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		事前登録者へe-mail、または電話による返信を実施
89	サービス保証・継続	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	冗長化、負荷分散
90	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	有り サービス仕様書
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1カ月前、3カ月前、6カ月前、12カ月前等の単位で記述)	必須○	原則:毎月第3日曜日 6:00~12:00 ※日本時間 告知時期:月初までに通知
		告知方法		電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。